

都 退 教 協 だ よ り

No.319号

2024年6月19日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

第50回都退教協総会にご参集を！ 7月10日(水)14:00 東京教組会議室

第50回都退教協定期総会を下記の通り開催いたします。多くの会員の皆様が参加されるようお願い申し上げます。

戦争の危機、繰り返す災害など心休まることのない時勢、平和と安全・安心のために私たち高齢者に何ができるか共に考えたいと思います。

教え子を再び戦場に送らない決意をこめて、都退教協総会を成功させましょう。議案書をお読みいただき、ファックスまたはメールで、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

ファックス 03-5276-1312

メール extani@gmail.com

記

日時：7月10日(水)午後2時開会

会場：東京教組会議室(日本教育会館2階)

議事：

①2023年度 経過報告・決算報告

②2024年度 活動方針・予算案

③2023年度 役員人事

④総会宣言

※総会終了後、ささやかな懇親会も行います。

2024年度 第50回 都退教協定期総会 議案書

2023年度 経過報告

分断と戦火が世界を覆っています。イスラエルのガザ攻撃は女性・子どもなど弱者の虐殺が進行しジェノサイドの様相を呈し、ロシアのウクライナ軍事侵略も長期化し両国の戦争犠牲者は増え続けています。ミャンマー(ビルマ)、スーダンでも戦火は止まず、世界は「恐怖と欠乏」に満ち溢れています。平

和憲法を持つ日本こそ、NATOや米軍に同調した経済制裁、軍事援助でなく「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占め」るため一刻も早い停戦に向け働きかけるべきです。

しかし、岸田政権は「台湾有事」を煽り、安全保障三文書を閣議決定、敵基地攻撃能力を保有する軍備倍増、日本の軍事要塞化を着々と進め、軍需産業優遇、武器輸出解禁と重要経済安保情報保護法を強行しています。

私たちは、敵基地攻撃、軍備拡大、戦費増税を断固阻止する声明(23/1/18)に基づき、岸田政権の戦時国家づくりを厳しく糾弾する活動に参加してきました。

国会の憲法審査会は、改憲をもくろむ自・公・維新・国民の各党が改憲項目についての議論を急ピッチで進めようとしています。

しかし、世論調査(共同通信社 24/5/1)では、改憲の国会議論を「急ぐ必要はない」が65%、「急ぐ必要がある」は33%で昨年より差が開いた。10年目を迎えた憲法大集会

(23/5/3 有明防災公園)には都退教協の仲間も多く参加し3万2千人(昨年2万5千人)が集まり、改憲・大軍拡反対の声をあげました。

岸田首相は、4月10日の日米首脳会談・共同声明、11日の米連邦議会演説において、「外の世界に目を向け強く関わる同盟」と日米軍事同盟の変質を明らかにした。これにより自衛隊と米軍の指揮・統制の一体化が進められ、自衛隊が米軍の指揮下で東アジアの戦争に従事させられる危険が高まっています。

一方、裏金・脱税問題が浮上し、政治資金規正法の抜本的な改正が求められているにもかかわらず、自民党は最小限の改正で抜け穴をつくり企業献金の存続に汲々としています。これに対する国民の怒りは、4月28日の衆議院補欠選挙で東京・島根・長崎で示され、いずれも立憲民主党候補が当選しました。

今年度の年金額は2.7%引き上げになりました。マクロ経済スライドにより0.4%減額され、物価変動率3.2%より低く、実質目減りの年金になりました。実質賃金は2年間マイナス(5/9厚生労働省発表)になっています。円安の進行に伴い、生活必需品、光熱費の高騰は私たち高齢者、非正規労働者、シン

グルマザーなど弱者の生活を直撃しています。

多くの自治体で介護保険料が引き上げられ6~7,000円になる一方、介護報酬は引き下げられ小規模事業所の倒産の危機が高まっています。後期高齢者医療制度に窓口自己負担2割が導入されるとともに、子ども・子育て支援制度の財源に医療保険料から約1兆円抛出され、さらに負担増になります。また、都退教協は、健康保険証の廃止(24/12~)マイナンバーカード一本化の強制に反対し退職者連合の団体署名に参加しました。

原発回帰を進める法案を束ねた(GX法)の強行、福島第一原発事故の汚染水の海洋投棄、金に物を言わせる核廃棄物最終処分場立地など岸田政権の原発推進政策は目に余るものがあります。世論調査では約6割が将来的な脱原発を支持しています。

文科省の教員勤務実態調査で小学校教諭の64.5%、中学校教諭の77.1%が国指針の「上限45時間/月」を超える時間外勤務をしており、深刻な教員の長時間勤務など労働環境の悪化により教員不足も深刻です。教師不足は全国で2800人(5月時点)、国が行った去年の調査結果から36%増え深刻化しています(NHK調査)。定額働かせ放題の批判に対し中教審は教職調整手当を10%に引き上げる素案を提出しましたが、定数の改善と超勤手当を支給しか解決の道はありません。

給食費の無償化は18区が実施していますが、未実施自治体も多く、格差をなくすためにも政府レベルで教育費・給食費の無償化を進めることが喫緊の課題です

東京都は、こども基本条例を施行子どもの権利条約に基づき、すべてのこどもの平等と意見表明の権利を保障しました。しかし、高等教育、幼児教育・保育の無償化から朝鮮学校が排除されていることは、この条例、憲法および国連人権規約にも反するものです。また、私立学校を含む高等教育無償化に踏み切りましたが他県から通学する生徒との格差が問題になっています。

国連は、障害者権利条約の日本審査の総括所見で、日本の分離教育を厳しく問うものですが、文科省は無視するような対応をしています。インクルーシブ教育は後退していると言わざるを得ません。

都のスピーキングテストは、様々な問題が指摘される中強行され、採点修正が行われたり、隣の回答者の声が聞こえてしまうなどの問題が生じました。にもかかわらず都教委は23年度35億円の予算をかけ、中学校全学年で実施しました。

1. 組織強化のとりくみ

退職する東京教組組合員全員に加入を呼びかけました。会費も8割近くの会員が納入してくださり、多くの会員からカンパをいただき財政を確立することができました。一方、定年延長もあり、加入者は2名にとどまり、高齢による退会、亡くなられた会員もも多く会員は減少傾向にあります。

2. 憲法改悪阻止・平和を守るとりくみ

改憲・大軍拡に反対する多くの集会が開催されるようになり「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」や「平和憲法を守る東京ネット」などの集会に参加し、5月3日の憲法大集会に多くの会員が参加しました。

3. 脱原発社会実現・東日本大震災からの復興・辺野古新基地建設反対のとりくみ

福島第一原発事故から13年、「原子力緊急事態宣言」はいまだ解除できません。廃炉の見通しもたたないまま、岸田首相は原発回帰(GX法)に踏み込み、老朽原発の再稼働を進めています。原発事故の責任究明と、汚染水海洋放出、再稼働や核燃料サイクル推進など命より経済の優先する政策を是正させるため、集会、署名活動にとりくみました。

「台湾有事」を想定した基地強化、合同訓練は沖縄に限らず全国を要塞化し、日米軍の訓練中の事故も起きています。引き続き、辺

野古新基地建設反対を支援する署名、集会にとりくみました。

4. 後期高齢者医療制度廃止・社会保障充実のとりくみ

「都退教協だより」に高齢者社会保障について掲載するとともに、医療・福祉制度の充実を求め日退教、東京高退連、都退協の学習会、集会に参加しました。

5. 年金制度に対するとりくみ

年金の引き上げは、物価高騰により実質収入減になっています。暮らしを保障し、将来世代にも安定した年金制度の確立を目指して退職者連合、地公退、日退教と連帯してとりくみました。

6. 税制に対するとりくみ

国民負担率(所得に占める税金や社会保険料などの負担の割合)は、44.6%と過去最高になる見通しだと発表されました。不公平税制を是正し消費税減税、累進課税強化、法人税増税の声が高まっています。

7. 公務員制度改革に対するとりくみ

教職員の過重労働が社会問題になる中、教員不足が深刻です。学校の労働環境改善、定数増、教職調整手当を廃止して残業手当を払えの声も高まっています。日退教・都退協とともに、現職の労働時間短縮、定員増と公共サービスの確立を求め現退一致でとりくみました。

8. 岸田政権、小池都政の教育介入を許さず、民主教育を守るとりくみ

歴史をゆがめる教科書を子どもたちに手渡さない運動を継続して進めてきました。日の丸・君が代の強制、教職員を分断し競わせる人事制度など、岸田政権・小池都政は教育への不当な介入を続けています。

9. 「朝鮮高級学校授業料無償化」に対する とりくみ

朝鮮高校の授業料無償化、幼保無償化、学
生支援緊急給付金の朝鮮大学の除外など朝

鮮学校を排除する差別が続いています。こう
した中、東京の朝鮮学校を支える会が数多く
発足し、朝鮮学校の保護者、学生、卒業生と
連帯するとりくみを進めました。

2023年度 業務日誌

2023年6月～2024年5月

6月9日(金)11:00 日退教定期総会
6月12日(月)14:00 都退協学習会
「安保三文書について考える」前田哲男さん
6月14日(水)14:00 東京高退連学習会
6月16日(金)13:00 都退教協会計監査
6月16日(金)18:00
ワタシタチハニンゲンダ上映会
6月21日(水)13:00 役員会 (313号発送)
7月5日(水)14:00 都退教協総会
7月10日(月)14:00 都退協幹事会
7月28日(金)13:00 地公退定期総会
7月31日(月)14:00 都退協総会
8月16日(水)13:00 都退教協役員会
(314号発送)
9月1日(金)13:30 関東大震災
在日朝鮮人虐殺慰霊祭 (横綱公園)
9月2日(土)13:00 関東大震災シンポジウム
9月19日(火)13:00 全国高齢者集会
9月20日(水)13:00 地公三単産集会
9月28日(木)16:00 都政連事務局会
9月29日(金)10:00 都退教協・都高退囲碁大
会 (ナーベルお茶の水)
9月30日(土)19:00 阿部都議
都政・国政報告会 (きゅりあん)
10月12日(木)11:00 五者合同学習会 ()
10月12日(木)14:00
東京高退連 30周年記念講演会
10月13日(金)10:00 日退教組織活動交流集会
10月18日(水)13:00 役員会 (315号発送)
10月20日(金)18:30
人権の21世紀をつくる文化の集い 2023
11月1日(水) 13:30 都退協代表者会議
11月3日(金)13:45 憲法大集会 (国会)
11月7日(火)15:00 都政連総会

11月16日(水)14:00
東京高退連総会・30周年レセプション
11月29日(水)10:00
都退教協秋の交流会 (鎌倉)
12月20日(水)13:00 役員会 (316号発送)
2024年
1月17日(水)13:00 都退教協三役会
1月18日(木)13:30 都退協幹事会・学習会
1月25日(木)13:00 地公退学習会
2月2日(金)18:30
東京都こども基本条例学習交流集会
2月8日(木)16:00 祝迫さんを偲ぶ会
2月9日(金) 13:30
退女教学習会 辛淑玉さん
2月10日(土)9:00
日朝教育交流集会(東京朝鮮第1初中級学校)
2月13日(月)13:00 平和フォーラム
「建国記念の日」を考える集会
2月14日(水)14:00 東京高退連学習会
2月21日(水)13:00 役員会 (317号発送)
2月26日(月)13:30 日退教60周年委員会
2月27日(火)14:00 都退協学習会
中野晃一さん
2月29日(木) 13:00
日退教関東ブロック代表者会
3月12日(火)14:00 日退教代表者会議
3月28日(木)17:00 ヘイトスピーチ・
複合差別を許さない、3.28院内集会
4月17日(水)13:00 都退教協役員会
4月19日(金)18:30 総がかり行動100回
4月22日(月)13:30 日退教50周年行事委員会
4月27日(土)10:30 メーカー中央大会
5月3日(金)12:30 憲法集会
5月13日(月)13:30 都退協代表者会
5月29日(水)13:00 都退協役員会 ()

5月30日(木)18:30 朝鮮学校無償化集会

6月13日(木)14:00 東京高退連学習会

6月6日(木)14:00 日退教役員会

伊藤真さん

6月7日(金)11:00

6月19日(水)13:00 都退教協役員会

日退教代表者会議・50周年レセプション

7月10日(水)14:00 都退教協総会

都退教協2023年度決算報告

| 都退教協2023年度決算報告 | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|-------------|
| (単位 円) | | | | |
| 収入の部 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 内容 |
| 年会費 | 250,000 | 244,000 | 6,000 | 2000×122名 |
| 雑収入 | 75,000 | 29,531 | 45,469 | 日退教過年度会費 他 |
| 繰越金 | 130,657 | 130,657 | 0 | |
| カンパ会計 | 44,343 | 44,343 | 0 | |
| 合計 | 500,000 | 448,531 | 51,469 | |
| | | | | |
| 支出の部 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 内容 |
| 会議費 | 10,000 | 0 | 10,000 | 定期総会・関ブロ総会 |
| 行動費 | 200,000 | 127,648 | 72,352 | 動員費補助・役員会 |
| 事業費 | 160,000 | 119,412 | 40,588 | 会報印刷発送・事務費 |
| 分担金 | 89,660 | 79,660 | 10,000 | 日退教・都退協・関ブロ |
| 雑費 | 40,340 | 32,856 | 7,484 | 慶弔・振替手数料 |
| 合計 | 500,000 | 359,576 | 140,424 | |
| 差引残高 | | 88,955 | | 次年度繰越 |

| 項目 | 2023年度カンパ会計決算 | | 単位 円 |
|--------|---------------|-------|---------|
| | 収入 | 支出 | 残高 |
| 繰越金 | 470,025 | | |
| カンパ金 | 90,980 | | |
| 利息 | 4 | | |
| 一般会計戻入 | | 44343 | |
| 合計 | 561,009 | 44343 | 516,666 |

都退教協・2024度 活動方針(案)

円安と物価高により、実質賃金・年金がますます減少する私たちの暮らしをしり目に、岸田政権は日本国憲法をなし崩し、日本中の要塞化、敵基地攻撃能力(反撃能力)と大軍拡で米軍の指揮下で戦争をする国家づくりに邁進しています。

衆参両院で改憲勢力が 2/3 以上の議席を持つ今、戦争法で集団的自衛権を容認した安倍政権、安保三文書で専守防衛すらかなぐり捨てた岸田政権によって憲法 9 条は捻じ曲げられています。新たな戦前にさせないため、私たちのくらしと平和・人権・環境を守るとりくみを進めます。

コロナ禍は、格差社会を加速させ、より深刻さを増しています。私たちは、社会的な弱者を救済する教育、福祉政策の実現にとりくみます。

岸田自公政権のアメリカ従属外交は、日米首脳会談で軍事的にも隷属することを表明し、イスラエルのジェノサイドやウクライナ侵略を停止する独自の平和外交ではなく、NATO に追随する経済制裁と武器輸出に踏み込んでいます。「台湾有事」を煽り、自衛隊が米軍の肩代わりすることで南西諸島・日本全土を戦場にすする危機が迫っています。沖縄県民の民意である辺野古新基地建設に反対し、政府に基地建設断念と日米地位協定の抜本改定を求めます。

築 60 年以上の原発再稼働、新炉建設、福島第一原発汚染水海洋投棄を許さず、脱原発・脱炭素社会をめざしてたたかいます。

7 月 7 日投開票で東京都知事選挙が行われます。3 期目をめざす小池都知事は、大規模再開発、都立病院の民営化、関東大震災朝鮮人犠牲者へのメッセージ拒否など大企業の代弁と人権無視の都政を続けています。私たちは、市民と野党の共闘候補、蓮舫さんを支持し、都民のための都政を取り戻します。

以下、基調となる活動方針を記します。

- 1) 憲法改悪に反対し、特定秘密保護法・戦争法・共謀罪法・入管難民法・GX 法の廃止・改正を目指し、平和と人権・環境を守る取り組みを進めます。
- 2) 再任用、会計年度職員全員に加入を呼びかけ組織拡大を図ります。定年が段階的に 65 歳に延長されるのに伴い、延長された定年を迎える東京教組組合員全員の加入を図ります。会員の交流を深めるため、都退教協だよりに会員の活動を紹介するとともに、交流の場、学びの場を企画します。各種活動・集会・役員への女性参画を高めるよう努めます。
- 3) 裏金、脱税の岸田内閣、自公政権退陣、改憲阻止に向け、関係諸団体と連携し、各種集会、行動に取り組みます。辺野古新基地建設に反対する諸行動に参加します。
- 4) 脱原発、脱炭素社会を実現するためのエネルギー政策転換を求めます。原発被災者をはじめ、被災者自身の意思に基づいた救済・復興を求めます。
- 5) 社会保障制度の確立をはかり、私たちがめざす政策の実現に向け、あらゆる運動にとりくみます。当事者である高齢者本位の介護・医療・年金・生活保障の充実を求めて日退教・都退協・高退連に結集し、一つ一つの行動にとりくみます。
- 6) 日退教、地公退、東京高退連、都退協などと連帯し、社会保障の充実、公正な税制を求めます。法人税の引き上げ、累進課税強化、消費税減税などの税制改正による所得再分配を求め、所得格差の是正、貧困化緩和などの実現にとりくみます。
- 7) 教員の超過勤務手当支給、労働基本権剥奪、賃下げ、定数削減などの公務員攻撃に対し、現退一致でとりくみます。
- 8) 「日の丸・君が代」処分をはじめ、教育の統制、政治介入に反対し、現職と連

帯してとりくみます。

- 9) 能力主義の学校教育を変えていくためにインクルーシブ教育の必要性を訴えていきます。「朝鮮学校授業料無償化」「幼保無償化」を実現するため、他の諸

団体と連帯してとりくみます。

- 10) 現退一致を基本に、日退教、地公退の一員として取り組みの前進をはかるとともに、構成単会と一致協力して都退協活動を前進させます。

都退教協2024年度予算(案)

| 都退教協2024年度予算(案) | | | | |
|-----------------|---------|---------|---------|------------|
| 収入の部 | | | | (単位 円) |
| 項目 | 24年度予算 | 23年度予算 | 増減 | 内容 |
| 年会費 | 250,000 | 250,000 | 0 | 2,000×125名 |
| 雑収入 | 75,000 | 75,000 | 0 | 日退教他 |
| 繰越金 | 88,955 | 130,657 | △ 41702 | |
| カンパ会計 | 86,045 | 44,343 | 41,702 | |
| 合計 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| | | | | |
| 支出の部 | | | | |
| 項目 | 24年度予算 | 23年度予算 | 増減 | |
| 会議費 | 10,000 | 10,000 | 0 | 定期総会・関ブロ総会 |
| 行動費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 動員費補助・役員会 |
| 事業費 | 160,000 | 160,000 | 0 | 会報印刷発送・事務費 |
| 分担金 | 89,660 | 89,660 | 0 | 日退教・都退協・関東 |
| 雑費 | 40,340 | 40,340 | 0 | 慶弔・振替手数料 |
| 合計 | 500,000 | 500,000 | 0 | |
| 差引残高 | 0 | 0 | 0 | |

| 項目 | 2024年度カンパ会計予算案 | | 単位 円 |
|--------|----------------|--------|---------|
| | 収入 | 支出 | 残高 |
| 繰越金 | 516,666 | | |
| カンパ金 | 50,000 | | |
| 利息 | 4 | | |
| 一般会計戻入 | | 86,045 | |
| 合計 | 566,670 | 86,045 | 480,625 |

会費を振り込んでいただき、ありがとうございます。

・6月6日現在

会費を納入してくださった方（敬称略）

堀江昌枝、浜口由利子、石岡佳子、平永由美子、平井みや子、中村滋、一ノ瀬渉子、小林千恵子、吉尾定、佐々木貴世子、依田倫子、菅沼京子、三田英夫、竹本和代、吉岡満佐江、持川徹、武藤啓司、岩田雪枝、小山都、竹山諭、西村千鶴子、繭山紀子、鈴木達哉、内藤貴子、前田文生、生井榮一、鈴木満佐子、圓谷洋子、佐藤睦、佐久間忠夫、藤井友子、山本勇治、河合新一、若山雅男、関川俊一、川島みつよ、加藤和雄、竹田武司、内田進、牛丸教子、植木正治、前田直也、磯崎賢市、松下和男、島村誠、村田明夫、石橋厚彦、塚越智子、半田秀子、植木しげる、堀井潔、中村登、大嶽昇一、坂本長則、木下美佐子、木下裕一、堀越新、三宅芙美子、清水和江、伊達和子、浅井哲哉、秋元清高、片桐健司、

カンパくださった方（敬称略）

堀江昌枝、浜口由利子、石岡佳子、平永由美子、中村滋、一ノ瀬渉子、吉尾定、秋元清高、佐々木貴世子、依田倫子、三田英夫、竹本和代、小山都、竹山諭、西村千鶴子、繭山紀子、内藤貴子、前田文生、生井榮一、鈴木満佐子、佐藤睦、佐久間忠夫、藤井友子、山本勇治、若山雅男、関川俊一、川島みつよ、竹田武司、植木正治、前田直也、磯崎賢市、松下和男、島村誠、石橋厚彦、植木しげる、堀井潔、大嶽昇一、坂本長則、三宅芙美子、伊達和子、

ひとつこと

浜口由利子 日本の世界の被災者へ、ほんのほんの少額ですが。

石岡佳子 清水愛沙さんの「平和に生きる権利は国境を超える」出版に際しての講演が私の住む函館市で開かれました。パレスチナについて勉強中です。

一ノ瀬渉子 今にも戦争が起こるような雰囲気を作り、アメリカに言われるままの防衛費増大。これを福祉、教育へと思う。

小林千恵子 天災、戦災（人災）こわいと思いながらものんきでいてしまう自分がいます。
こわい～～～

武藤啓司 子どもの人権無視の管理教育を終わらせなくては、日本の子どもは救われませんね

竹山諭 教え子を戦場に送るな!!

佐藤睦 いつも大切な情報ありがとうございます。

活動の助けとして微力ながらカンパさせていただきます。

佐久間忠夫 共闘の力で、自民政権を打倒しましょう。

山本勇治 益々の発展を祈ります！

関川俊一 政権交代をさせましょう！

植木正治 専門員の待遇改善、権利拡大のために

島村誠 マンションの管理費も上げざるを得ません。都退教協の維持も大変ですねえ。

植木しげる 憲法改悪など、きなくさいですね！

大嶽昇一 日本・世界とも大変な時代を迎えています。田舎にいて72歳元気です。

日々農作業も含め、7人分の仕事をしています。ゆとりがなく協議会は今年ちで退会させていただきます。よろしく。

坂本長則 今年百歳を迎え、感謝の一言。

※ほかにも多くの方々から「ひとつこと」をお寄せいただきました。紙面の都合で、次回に掲載いたします。編集後記はお休みです。総会でお会いしましょう！